

## 平成26年度第2回 倉吉未来中心運営懇談会 概要

日 時:平成27年3月10日(火)

19:00~20:30

場 所:倉吉未来中心セミナールーム1

【出席委員】 10名(代理出席1名含む) ※委員数:12名

【意見交換の内容】 (→は未来中心からの回答)

(委 員) 26年度までの取り組みを踏まえて27年度の方針を決めた背景・分析について詳しく知りたい。

→ 26年度までいろいろな事業を実施してきた。その中には、みらい音楽堂・みらいアトリうむ劇場、みらい音楽プロムナード等類似の事業が多く、外部の方から見るとどれがどれだかわからないという意見をいただいていたことがあるため、事業を目的別に整理しなおし、27年度事業計画のなかで重点的に進める取り組みとして「地域との連携・協働」と「子育て支援」を掲げた。また、「鑑賞、体験、発表機会の提供」「人材育成」「情報発信」についても持続的な取り組みとして推進していくこととしている。

(委 員) 27年度からは5項目に絞って事業を実施していくということか。また、今までの事業は成果がなかったという意味合いがあるのか。

→ 今までが成果がなかったということではなく、成果・課題の部分の踏まえて事業を整理していく。

(委 員) 事業を精査されていること、今後の方針も理解できるが、未来中心らしさをはっきり示した方が良いのではないかと。年度ではなく中長期的な計画・方針を未来中心らしさを踏まえて打ち出していくのが大切なのではないかと。

→ 年度を振り返って達成できたもの・できなかったことを踏まえながら次年度以降の事業を検討していきたい。未来中心の特色を出していくというご意見は今後意識して取り組んでいきたい。

今年度の乳幼児向けコンサート「親子で楽しむハッピースマイルコンサート」は大変好評であった。中部地域が少子化となっている現状から、子育てがしやすい環境を整えるという意味でも昨年までの1回実施から3回実施として未来中心の特色としたいとも考えている。

(委 員) いいアイデアだと思う。地域貢献にもつながり活性化につながるのではないかと。

(委 員) 地域との連携・協働についての今後の方針を聞かせていただいたが、変えていこうとしているのは素晴らしい。倉吉未来中心という名前が決まった頃は耳慣れない名前であったが、子どもたちには名前がよく認知されている。子育て世代に視点を当てているのはおもしろいと思った。様々なイベントに足を運んでいると、来場者が多いのは女性であり男性の鑑賞者は大変少なく思っていた。しかし、先日の加山雄三コンサートは男性が大変多かった。男性の鑑賞者もおもしろい企画があれば出かけていくので、男性の仕事と趣味を両立してもらうための男性をターゲットにした企画を考えてみてはどうか。

→ 鑑賞公演では女性来場者が6、7割ということが多い。加山雄三公演は男性をターゲットにした公演で、やはり男性の割合が増えた。男性・女性それぞれターゲットのバランスを考えながら事業を検討している。子ども向けコンサートは家族連れで来てもらえるので、男性誘客も狙った事業でもある。

(委 員) 活性化事業の中でJAとのコラボコンサートの実施とあるが、詳しく聞かせていただきたい。

- 地元のアーティストと連携して実施するみらい音楽堂に JA の婦人部にご出演いただくことも検討している。
- (委員) 資料 p 11 に利用状況があるが、利用率を上げるための取り組みを聞かせていただきたい。
- 利用率は県内の比較対象として、米子コンベンションセンターととりぎん文化会館がある。大ホールで比較すると、未来中心が若干少ないが、人口比率等の諸条件を踏まえると必ずしも低い数字ではない。全国には公立文化施設が 3000 ほどあるが、10 万人規模の都市や市町村規模だと、ホールの稼働率は 41～46% である。当館大ホールは 40% 後半から 50% 代であるため低い方ではないとは感じている。小ホールは毎年 70% 程度、他施設は 90% 程度と高い水準を維持している。平成 24 年度、25 年度の大ホール利用率は 40% 台と低迷していたがプロモーターへの営業により 26 年度は AKB 48 等に來ていただくことができた。来年度もプロモーターからの予約が入りつつある状態である。ただし、学校減免等の減免制度も浸透しつつあり、利用率が上がれば必ずしも利用料収入が上がるわけではないが、利用率増加に伴って利用料も増加する傾向ではあり、利用率向上に努めていきたい。
- (委員) 飲食店と連携したチケット購入割引サービスの利用割合を教えてください。
- パークスクエア内の飲食店では 30 組程度の利用実績がある。赤瓦周辺の飲食店割引サービスは平成 26 年度は未実施。平成 25 年度以前の話になるが、公演前の利用が多い傾向にある。多くの方に利用されているという状況ではないので、赤瓦周辺に足を運んでもらえる方法を今後相談させていただきたい。
- (委員) 未来中心でのイベント情報を観光施設や旅館へ情報提供することが可能か。先日の AKB のコンサートを始め、イベント情報を事前に提供してもらい、ホームページにリンクができれば誘客に動けるのではないかと思う。
- 未来中心の自主事業であれば財団情報誌アルテをお送りして情報提供を行っている。ただ、具体的にこの事業を行うというような形で情報提供はできていないので、ご要望に合わせて自主事業の情報提供はしていきたい。民間主催のイベントは各主催者によって情報出しの許可がおりてからの提供となる。熊谷委員は新聞社で事業を実施されているが、こういった時期に情報を出されているか教えてください。
- (委員) 開催日の 2、3ヶ月前からチケット発売と PR を行う。PR が早過ぎて困ることはなく、3ヶ月以上前から情報出しできるのが理想。ただ、3ヶ月前頃はなかなか内容が固まりきっていないということも多く、広報が遅れ入場者が減ってしまうという結果になってしまう。
- (委員) 民間主催のものであれば、著作権の問題や、そのイベントで誘客してはだめだという話があることも多いが、そこをクリアできるのであれば各観光施設や旅館との連携は可能になってくる。逆にそれができないと連携は難しい。
- 民間イベントの場合は主催者の方の考えがそれぞれあり、情報提供ができるものとできないものがある。当財団の自主事業であれば年度当初にはある程度情報提供が行えるので、連携を図りたい。
- (委員) SUN-IN 未来ウォークを 6/6,7 に開催予定。今回は始めて開会式を未来中心のアトリウムで行う。今回はパークスクエアではなく未来中心での実施になり共催のような感覚でおり感謝申し上げたい。ウォーキングで未来中心を使えるように考えてほしい。地域性で考えると子どもも大事だが、お年寄りが多く、病院の多い地域でもある。そういった人々が集まる場所となるかは、事業や施設の開放の度合いによると思うが、高齢者の方も使いやすい施設にしていくことが必要ではないかと感じ

る。県から子育て関連の業務委託を受けているので、その部分での情報共有も図っていききたい。地域団体である NPO 法人未来もお互いにコラボレーションや共催ということで良い方向を見いだせたらと思う。

→ 昨年度は高齢者・障がい者向けの事業ができなかったため、来年度実施を予定している。手探りであるため、どういった形で行うかはニーズ等を調査しているところである。子どもから高齢者の方まで親しみを持って使っていただける施設になるよう環境整備を行っていきたいと考えている。みらい音楽堂は周辺地域の高齢者の方が常連となり楽しんでいただいている状況であるので、PR の範囲を広げてさらにたくさんの方に来ていただけるようにしたい。

(委員) サッカーのガイナレ鳥取が実施しているホームタウン DAY のような形を未来中心でも行ってはどうかと提案させていただいた。未来中心の運営費を1市4町が負担していることを各市町村の町民はほとんど知らないが、自分たちの税金が使われているという感覚があれば未来中心のイベントに関心を持って見に来てくれるのではないかと思う。ホームタウン DAY で自分たちの町の特産品や PR をロビー等で行う形が定着すれば、次回以降のコンサートでの PR の成功を目指すために各市町村でもチケットを売るのに協力しようという流れになるのではないか。未来中心の事業を各市町村のホームタウン DAY のために提供してもらえると連携に動く人がたくさん出てくるのではないかと思う。

→ 8月の運営懇談会でも同様の意見をいただき、来年度は三朝町との連携を計画している。みささ美術館と事業を行いたいと考えており、それに合わせて三朝町の PR を含めての連携を考えている。このような形で再来年度は他の町との連携を考えていきたい。

(委員) 未来中心との関わりとして、未来中心の事業を報道することと、自社事業を実施するという2つがあると考えている。報道に関しては未来中心の事業に出向き報道するというを考えている。新しいことを行う場合はどんどん情報提供をしてもらえば報道していききたい。なしっこ館が保育園への訪問を始めた際に報道したところ、他の保育園からも訪問依頼があったという事例もあるので協力していききたい。事業については運営懇談会の参加をきっかけにコンサートを実施することを検討している。このコンサートがうまくいけば今後も大ホールを使っていききたいと思っている。準備をしているときに感じたが、今は電話よりもメールでの問い合わせの方が気軽に慣れている人が多いため、新規利用者開拓や敷居を低くすることを狙って、ホームページのお問い合わせフォームを目立つようにしてみてもと思う。

(委員) 4町の代表として来ているつもりだが、有名なアーティストを未来中心に呼んでもらうことは1市4町の住民にも恩恵があると思うが、それ以外に町から未来中心に依頼することが思い浮かばない。また、他の町はホールがありホール同士で何かをすることができるかもしれないが、北栄町はホールがないためそういった形での連携もできない。実際に北栄町 DAY を実施したとして、町コーナーは主ではなく付属的であり、何かイベントがありそこに人が来るから出店する意味が出てくる。とりアートに町民が参加しているようだが、町が動いて未来中心に何かを依頼するということが思い浮かばない。是非、北栄町との連携内容を具体的に提案していただきたい。

→ 以前は中部地区のホールのネットワーク会議があり、連携や情報交換を行っていたが自然消滅した。来年から、復活させてみたいと考え動いている。ホールを持たない町との連携に関しては、再度考えて今後提案していききたい。北栄町にはホールがないため、町の文化担当者にネットワーク会議に出席していただく等、意見を伺う場を今後設けたい。

- (委員) ピアノのクリニックの実施について、幸本委員が鳥取県クラシックアーティストオーディションのピアノ・弦楽器の公開レッスンを見た。講師のレベルに対して受講者のレベルが追いついてない印象を受けたとのことであった。鳥取におけるアーティストについてはピラミッドの土台の部分の裾野を広げるべき段階であるのに、いきなりの上級者向けレッスンをして意味がないのではないかと感じた。小さな子どもや初心者でも参加できる仕掛けを作っていないと育成は続かない。アーティストの裾野が広がれば付随して施設の利用が増えるようにも思う。
- Mecha しぶナイト倶楽部については、目的に人材育成とあり、事業はクオリティが高く誰でも楽しめるいいライブイベントであると思うが、中学生・高校生も気軽に参加できる仕掛けがあればと思う。例えば、未来中心に行けば誰かがストリートミュージシャンのように音楽演奏を行っているというような形もいいと思う。倉吉でも一時期ストリートミュージシャンがいたが最近はあまり見なくなってしまったので、ストリートに代わる場所が未来中心になればと思う。
- 施設利用に関しては敷居が高いイメージがある。何年か前に自身のバンドでホールを利用したが、スタッフからこの備品を使ったらいくらの備品代がかかるという説明がなかった。自分たちも全ての備品代が頭に入っているわけではなく精算のときにびっくりした。有料のものはその都度しっかり説明していただく必要があるように感じる。また、アマチュアについては備品代の優遇もしていただければありがたい。
- トラブルを避けるため現在は想定される備品代を概算してご説明するほか、備品代の説明も丁寧に行うように意識しているが、これからもより丁寧に説明をさせていただきたい。
- (委員) 今後の委員としてのスタンスを確認したいが、財団が企画した事業に連携という形で提案していけば良いのか。それとも、委員自ら事業を提案していても良いものなのか。資料2についてはさらに今後さらなるフィードバックがあるのか。
- 財団としても今後事業を企画していくが、委員の皆様には事業を始め様々な提案をしていただきたい。資料2については、今日の懇談会でのご意見を踏まえ今後具体的に動いていく内容をお示ししていきたい。
- (委員) ホールの抽選申込みに関して、ある文化団体が SNS で来年の予約が取れないとつぶやいているのを見た。
- 3月末は文化事業が集中する傾向があり、各学校の利用に遠慮して希望する利用日・施設を変える文化団体もある。学校の催しであれば生徒の家族に来てもらうために土日実施で予約されたいのはわかるが、学校の催しであるならば平日でも家族は休みを取って来場されることも考えられる。自分たちでチケットを売って行っている文化団体の公演の予約を取るのが困難である現状を改善する方法を考えていただければと思う。
- 文化芸術に関する公演であれば通常より1ヶ月早く予約ができる制度を設けており、その制度で学校の文化芸術公演と重なってしまうのが現状であり、学校減免制度で無料でホールを利用している学校が文化団体と同じように抽選を行っている現状が平等性を欠いていると思われることとお察しする。そういったご意見も以前からいただいている。とりぎん文化会館も米子コンベンションセンターも同じ学校減免制度を運用しているが、同様なご意見があると伺っている。今後、減免制度と抽選制度のバランスについて県と相談しながらいい方法を探りたい。体育施設のように月初めに調整会を行うということも案かと思うが、公平さも保ちつつ、皆様に一年間を通してバランスよくご利用いただける方法を考えていきたい。

【懇談会の様子】

